

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報(U)

昭54—168797

⑫Int. Cl.²
A 61 F 13/18

識別記号 ⑬日本分類
94 F 52

⑭内整理番号
6617—4C

⑮公開 昭和54年(1979)11月28日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑯生理用ナプキン

⑰実願 昭53—66499

⑱出願 昭53(1978)5月19日

⑲考案者 山本正満

東京都港区高輪3-25-23 ュ

ニ・チャーム株式会社東京事務所内

⑳出願人 ユニ・チャーム株式会社
川之江市金生町下分182番地

㉑代理人 弁理士 白浜吉治

㉒実用新案登録請求の範囲

防水材に吸水材を積層しこれをレーヨン紙、不織布等の透水性シートで包括してなる生理用ナプキンにおいて、前記ナプキンの少なくとも一端部域を他部域よりも薄層に形成して該一端部域の上面にすべり止め用のエンボス加工を施し、且つ前記ナプキンの中央部長さ方向にプレスによつて少

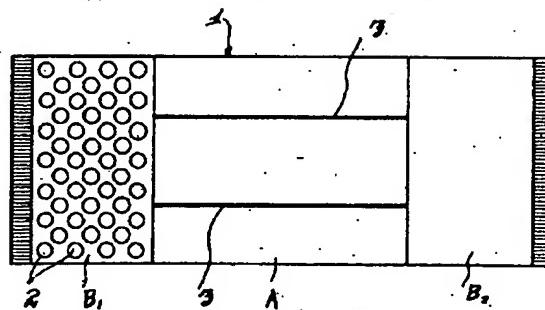
なくとも一条の折曲案内溝を設けてあることを特徴とする前記ナプキン。

図面の簡単な説明

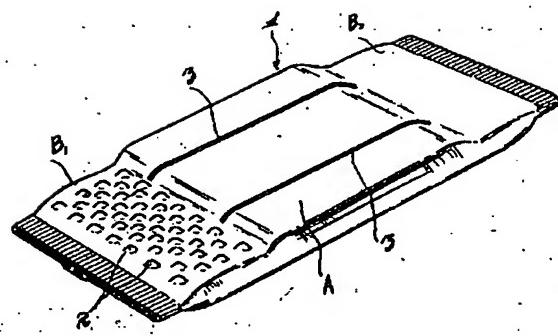
図面は本考案ナプキンの一実施態様を示すもので、第1図は平面図、第2図は斜視図である。

1……ナプキン、2……エンボス加工、3……折曲案内溝、B₁、B₂……端部域。

第1図



第2図





实用新案登録願 (2)

昭和 53 年 5 月 19 日 2 手封

特許庁長官 藤谷春二殿

1. 考案の名称

生理用ナプキン

2. 考案者

東京都港区高輪3-25-23

住 所

ユニ・チャーム株式会社東京事務所内

氏 名

山本正彌

3. 實用新案登録出願人

愛媛県川之江市金生町下分182番地

住 所

ユニ・チャーム株式会社

氏 名

代表者 篠原健一郎

4. 代理人

宇105

住 所

東京都港区新橋2丁目2番3号 裕芳ビル

氏 名

(6626) 弁理士 白浜吉浦

5. 添付書類の目録

- (1) 明細書 1通
(3) 願書副本 1通

- (2) 図面 1通
(4) 委任状 1通



但し、提出に係る実用新案登録願に添附した委任状を認用する

53 066499

方 式 査

明細書

1. 考案の名称

生理用ナプキン

2. 実用新案登録請求の範囲

防水材に吸水材を積層しこれをレーヨン紙、不織布等の透水性シートで包括してなる生理用ナプキンにおいて、前記ナプキンの少なくとも一端部域を他部域よりも薄層に形成して該一端部域の上面にすべり止め用のエンボス加工を施し、且つ前記ナプキンの中央部長さ方向にプレスによって少なくとも一条の折曲案内溝を設けてあることを特徴とする前記ナプキン。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、形態に特徴を有する生理用ナプキンに関する。

一般に、従来の生理用ナプキンは、長方扁平形態に、しかもその厚さを全域にわたり略均等に形成してある。そして通常、このナプキンは、その中央部域を膣口部に、その一方の端部域を腹部側

(股部前側)に、且つその他の方の端部域を臀部側(股部後側)に各位置させて着用するのであるが、前述のようにこれ等各部域を含む全域にわたり厚さを略均等に形成してあるので、これが着用上、種々の欠点があった。即ち、ナプキンの着用時にパンタロン等のズボン類を着用すると、股部前側又は後側にナプキンの端部域のラインがくっきりと浮き出て体感が悪くなり、就寝時に着用すると、臀部側にナプキンの端部域が強く圧接して着用感が増し不快感を与えることになり、しかもナプキンが臀部溝に密着し難いので、経血がその後側から漏れる等の欠点があった。

又、ナプキンの着用時にはナプキンが股部間に挟まれて折曲するが、その折曲線がナプキンの中央部長さ方向にあればナプキンが腰口部に位置している状態にある。然し従来のナプキンにおいては、その折曲線が中央部長さ方向に位置せずにずれ、そのため経血が漏れるという欠点もあった。

本考案の目的は、前述の如き欠点を解消することのできる新規な形態の生理用ナプキンを提供す

ることにあり、その目的を達成するための構成を図示の実施態様に基いて説明すると、以下の通りである。

図において、1は従来一般に知られ実用に供されている長方扁平形態を有する生理用ナプキンで、これは、図示していないが、防水材に吸水材を積層しこれをレーヨン紙、不織布等の透水性シートで包括してある。ナプキン1の適宜広さを有する両端部域B₁、B₂を中心部域Aよりも薄層に形成して、一方の端部域B₁の上面にエンボス加工2を施してある。更に中央部域Aの中央部長さ方向には、適宜間隔をおき当該部をプレスによって二条の折曲案内溝3を設けてある。

尚、他方の端部域B₂の上面にも必要に応じてエンボス加工2を施してもよいし、他方の端部域B₂を薄層に形成しないこともある。又、折曲案内溝3はナプキン1の中央部長さ方向に少なくとも一条設ければよく、しかも両端部域B₁、B₂にまで延設されていてもよい。

本考案のナプキンは、以上のように構成してあ

り、従って、ナプキン1の中央部域Aを腰口部に、両端部域B₁, B₂の何れか一方を腹部側に、且つ他方を臀部側に各位置させて着用するときは、ナプキン1が股部間にあって折曲案内溝3を介して正常に折曲して、中央部域Aが腰大陰唇間に喰込まれ、両端部域B₁, B₂が当該部の肌に密着することになり、しかもエンボス加工2によってすべり止め効果が一層向上することになり、そのため既述した従来のナプキンの有する欠点を悉く解消し所期の目的を達成することができ、実用に供し極めて有益である。

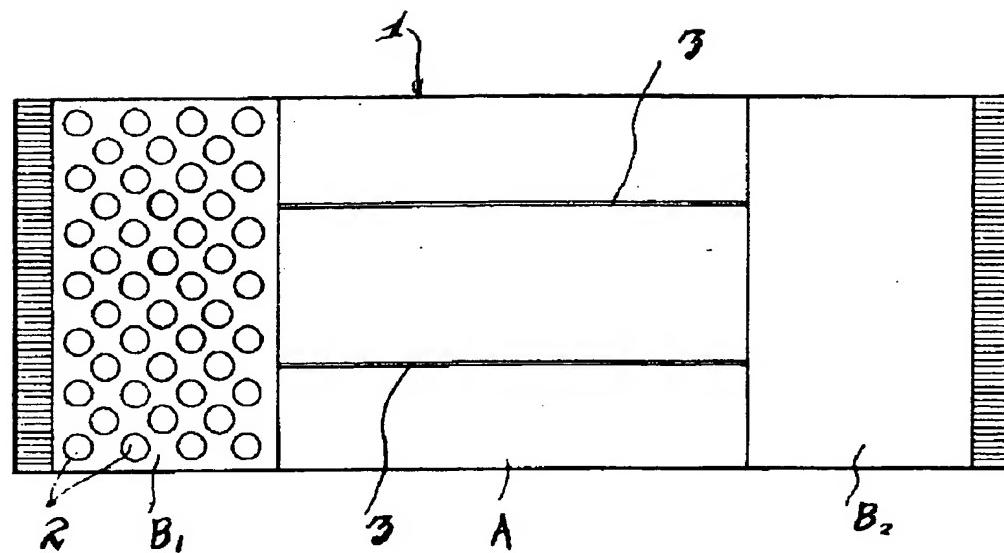
4. 図面の簡単な説明

図面は本考案ナプキンの一実施態様を示すもので、第1図は平面図、第2図は斜視図である。

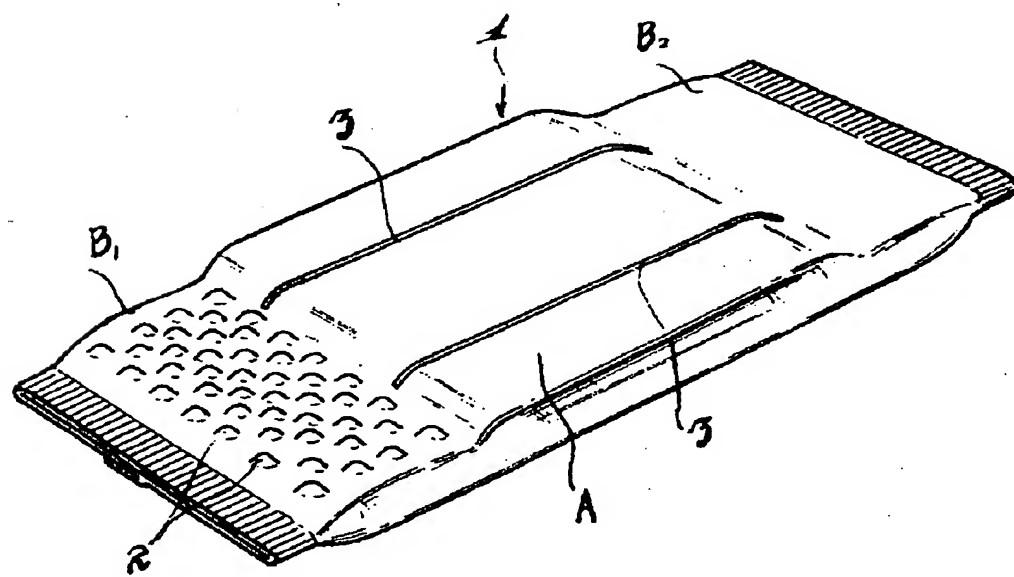
1 ... ナプキン、 2 ... エンボス加工、
3 ... 折曲案内溝、 B₁, B₂ ... 端部域。

代理人弁理士 白浜吉治

第 1 図



第 2 図



168737

代理人弁理士 白浜吉治